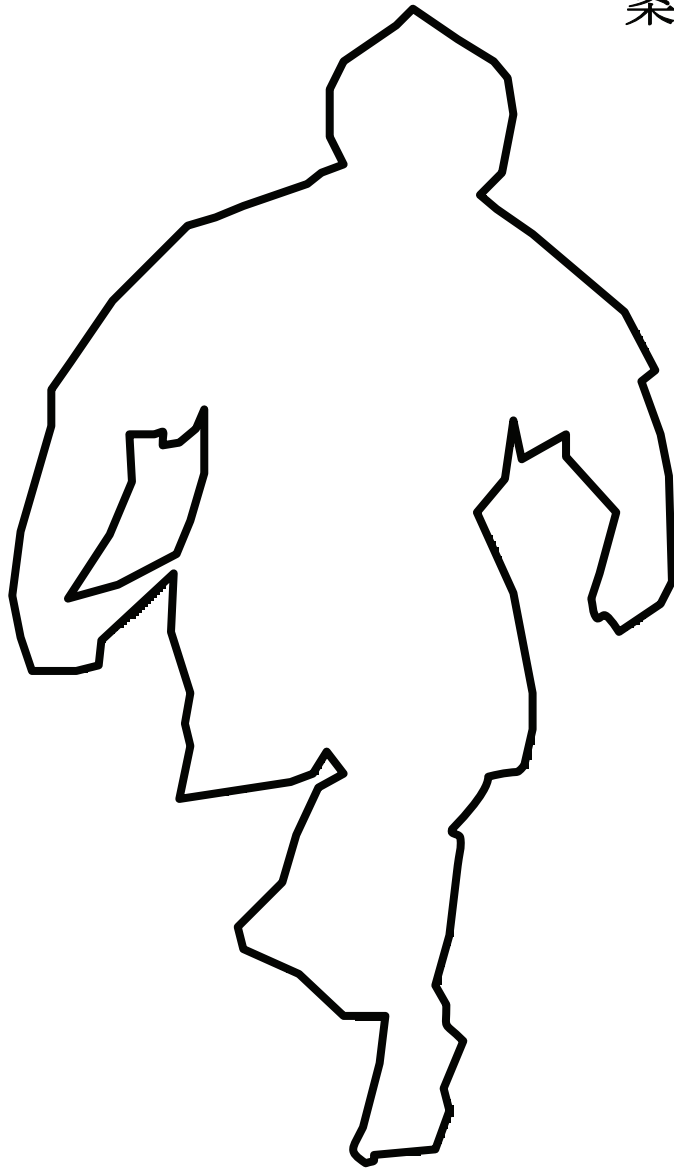


こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



おう

## 王さまダビデ

### (その1)



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Lazarus

かいさくしゃ

改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2007 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



ダビデは、あちらこちらと、にげまわっていました。それは、サウル王がダビデ  
を殺そうとさがしていたからです。あるとき、ダビデはだれも人の住んでいない  
荒れた地に、ものすごく大きいほら穴を見つけましたよ。ダビデは、400人の  
けらいとそこに住むことにしました。



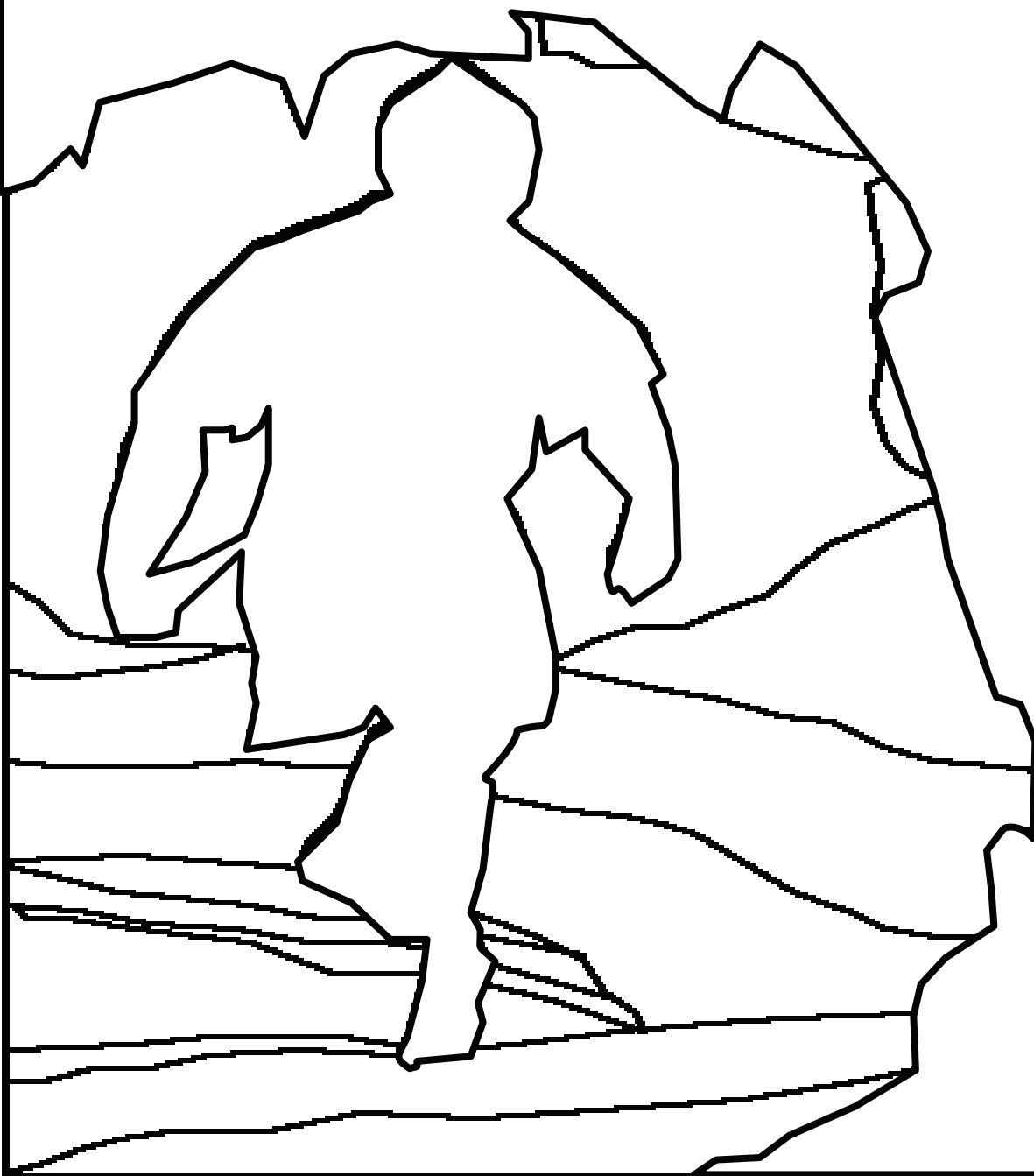
あつ、あぶない！はやくかくれて！ときどきサウルの兵士たちに、見つかりそう  
になります。でもね、ダビデは、いつもうまくにげていますよ。



サウルの召しつかいに、ドエグという人がいました。この人はサウルに、そっと  
い  
言いました。「じつは祭司たちが、ダビデがにげるのを助けたんですよ。」それ  
し  
を知ったサウルは、めいれいしました。「祭司を殺してしまえ！」召しつかいの  
なか  
中で、ただドエグだけが、よろこんでサウルのめいれいにしたがいました。かれ

は、ひどいことに、85人の祭司とその家族みんなを、  
じぶん  
自分のつるぎでさし殺しました。  
なんてひどいことでしょう。





ひ  
ある日、サウルは、ダビデを  
さがしながら、ちょうど見つ  
み  
けたほら穴の中へ、入ってい  
あな なか はい  
きました。でもね、そのほら  
あな  
穴には、ダビデとけらいたち  
がかくれていたのです。サウ  
ルは、たった1人でしたよ。



あな

ほら穴の中にかくれていたダビデ、いまがチャンス  
です。かれは、いまサウルをかんとんに

ころ  
殺せるのです。さあ、ダビデはサウ

ころ

ルを殺したでしょうか。いいえ、  
そのかわりにね、ダビデは、そう  
っとサウルにちかづき、みじ

とだ

かいつるぎを取り出し、ゆ

うわぎ

らゆらした上着のはしを

きと

切り取った

あな で

のです。サウルがほら穴から出ていったとき、ダビデはうし

よ

おう

ろからついていき、サウルを呼びました。「サウル王、ダビ

すこ

うわぎ

きと

デです。少しまえ、わたしは、あなたの上着のはしを切り取り

み

ころ

ました。さあ、見てください。わたしは、あなたを殺すことがで

ころ

きた。でも殺さなかったのです。わたしは、あなたをにくむこと

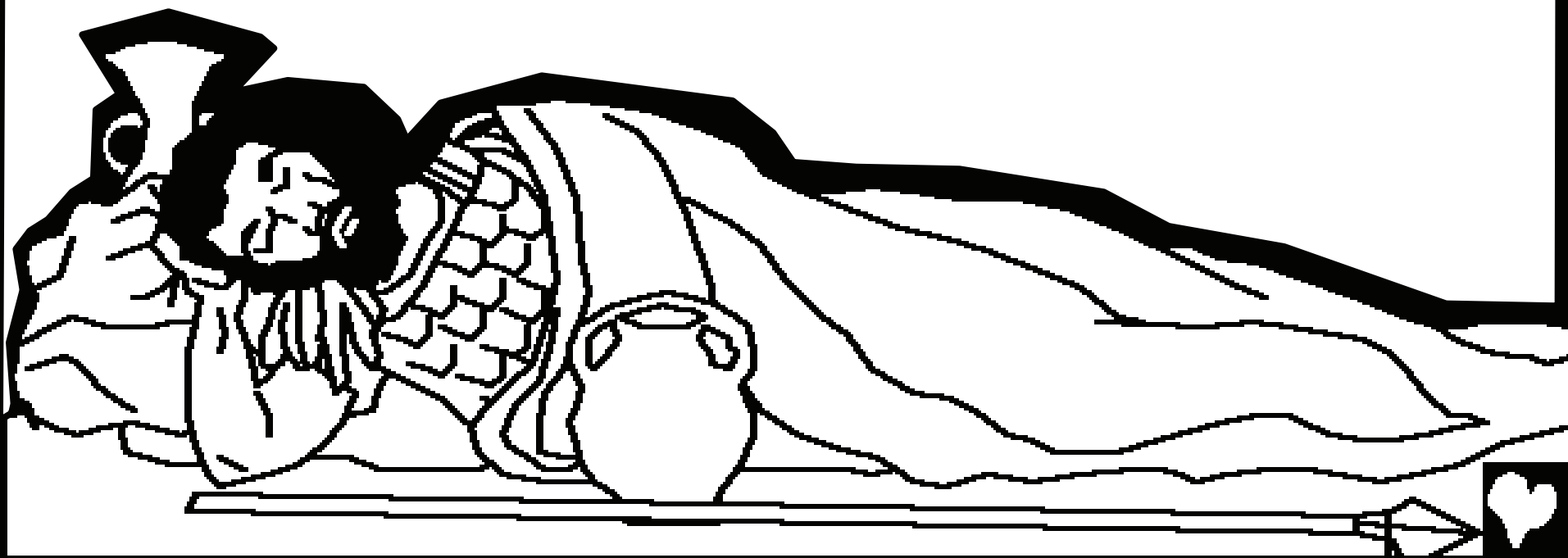
しかえ

おも

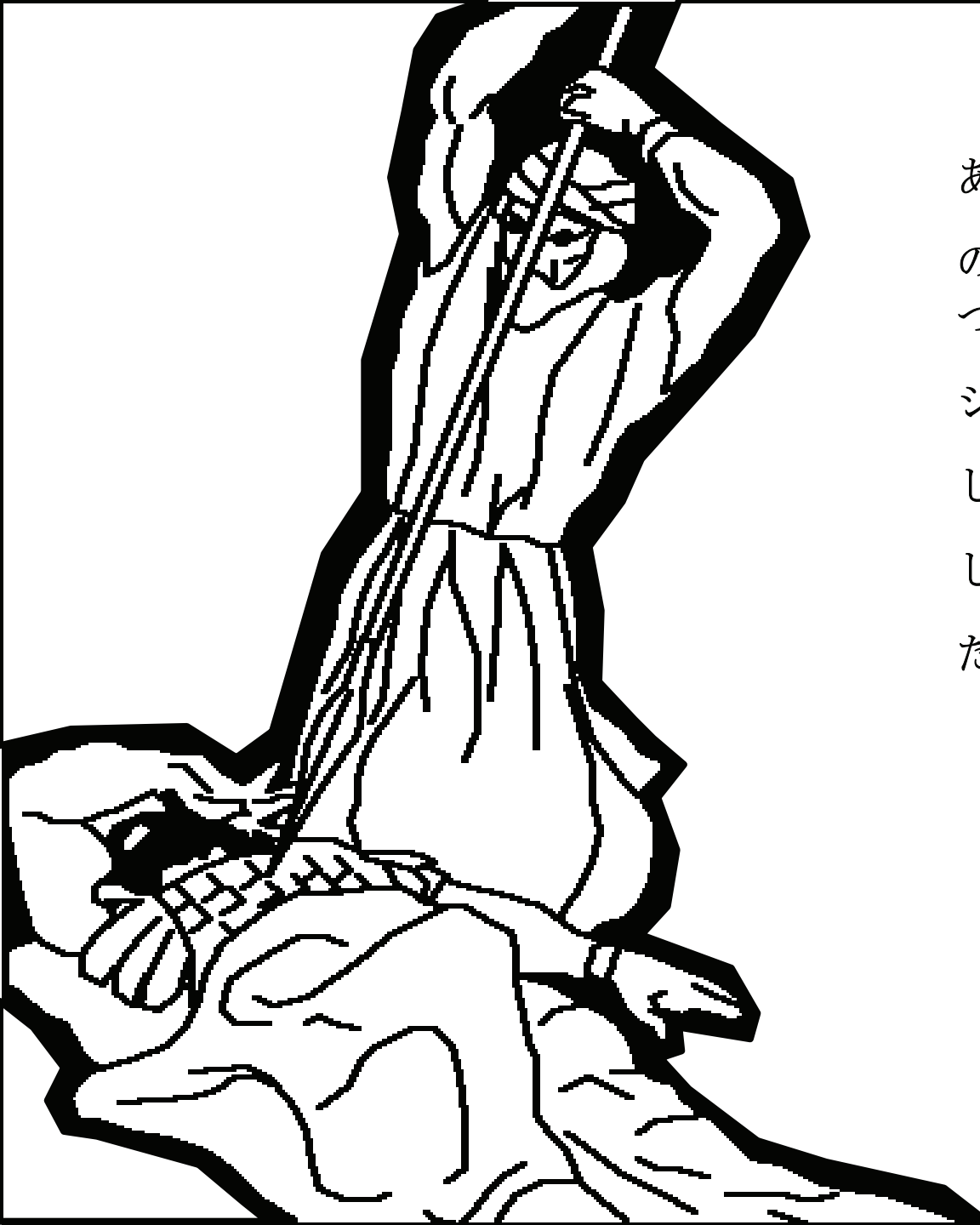
も、仕返ししようとも思っていないのです。



「なんと自分は、悪いやつだろう。」そのとき、サウルは、ダビデを殺そうとした自分を、心からはずかしく思いました。ところが、またすぐに、むかしのことを思い出し、ダビデへのにくしみと怒りの心が、わいてきました。そして、またしてもダビデを殺そうと、3000人もの軍をつくりました。ある夜、サウルの軍がねむっているとき、その軍のキャンプに、ダビデと1人の兵士アビシャイが、そっと軍のキャンプにしのびこみました。そこでは、サウル王がきもち良さそうにねむっていますよ。

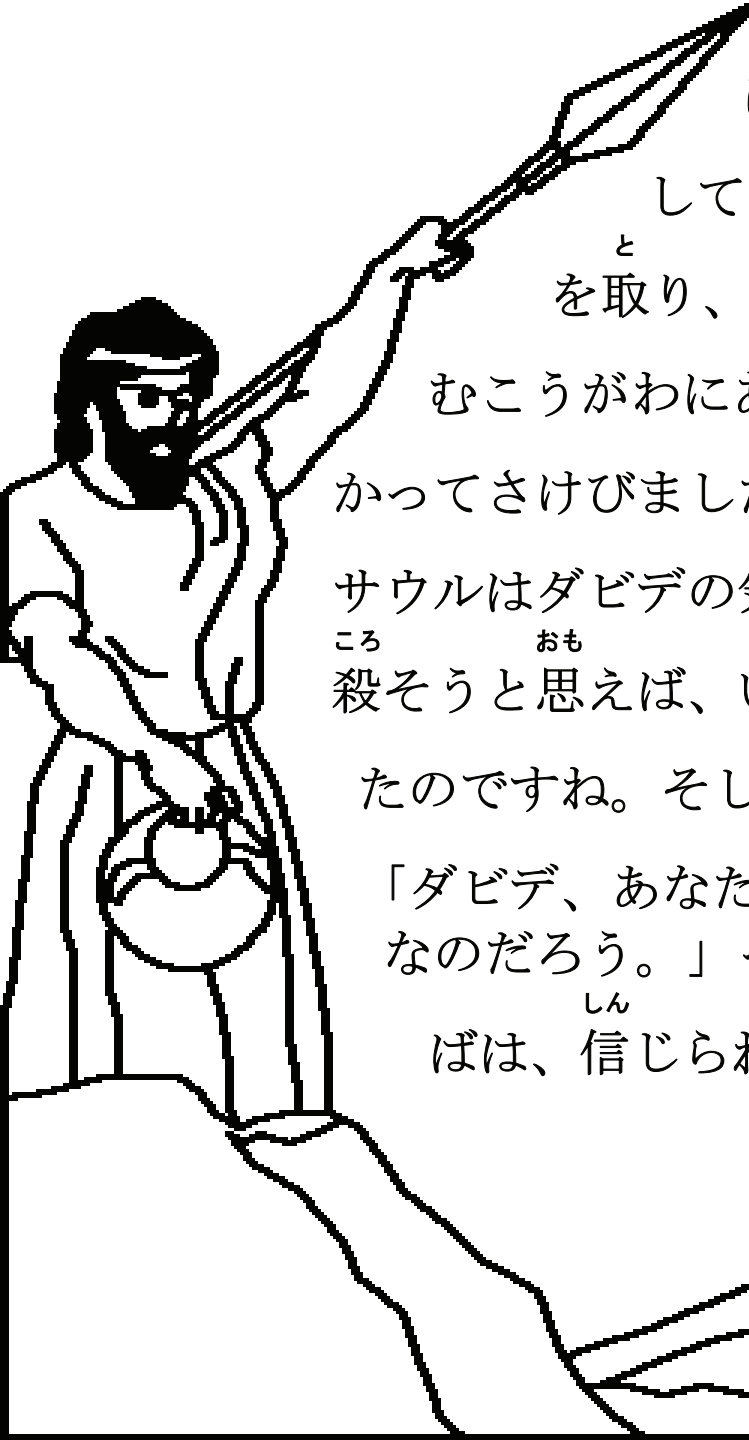






「ダビデさま、神さまはきょう、  
あなたのできサウル王を、あなた  
の手にくださっているのです。勝  
つことができるのです。」アビ  
シャイは、小さな声でささやきま  
した。「どうぞ、サウル王をわた  
しのやりで、殺させてください。  
たった一つきで殺せますから。」





けれどもダビデは、きっぱりと言いました。「殺  
してはならない。」そしてサウルのやりと、水のびん  
を取り、そのキャンプから出ていったのです。それから、  
むこうがわにある丘の上まで行き、こんどは大声でサウルにむ  
かってさげびしました。サウルに聞こえるまで何どもね。またしても、  
サウルはダビデの気もちがわかりました。なぜなら、ダビデは、  
殺そうと思えば、いつでもサウルを殺せたのです。でも殺さなかつ  
たのですね。そして、このときもまた、サウルはこう言いました。  
「ダビデ、あなたを殺そうとしたわたしは、なんて悪いやつ  
なのだろう。」ってね。でも、ダビデは、もうサウルのこと  
ばは、信じられませんでした。





このころ、サムエルはもうすでに亡くなり、  
この世にはいませんでした。このサムエルは、  
よげん者<sup>しゃ</sup>でしたね。そのむかし、神さまはサム  
エルにサウルに油<sup>かみ</sup>そそぎをするように言われた  
のでしたね。それからイスラエルの王として、  
ダビデに油<sup>あぶら</sup>そそぎをするようにね。さてペリシ  
テ人<sup>じん</sup>が、イスラエルをせめてきたときです。  
サウルが何かとても悪いことをしました。  
それは、神さまが、決してしてはいけないと言  
われていたことでした。それは、どんなことで  
しょう。



おんな ひと い

サウルは、ある女の人のところへ行きましたよ。そして、

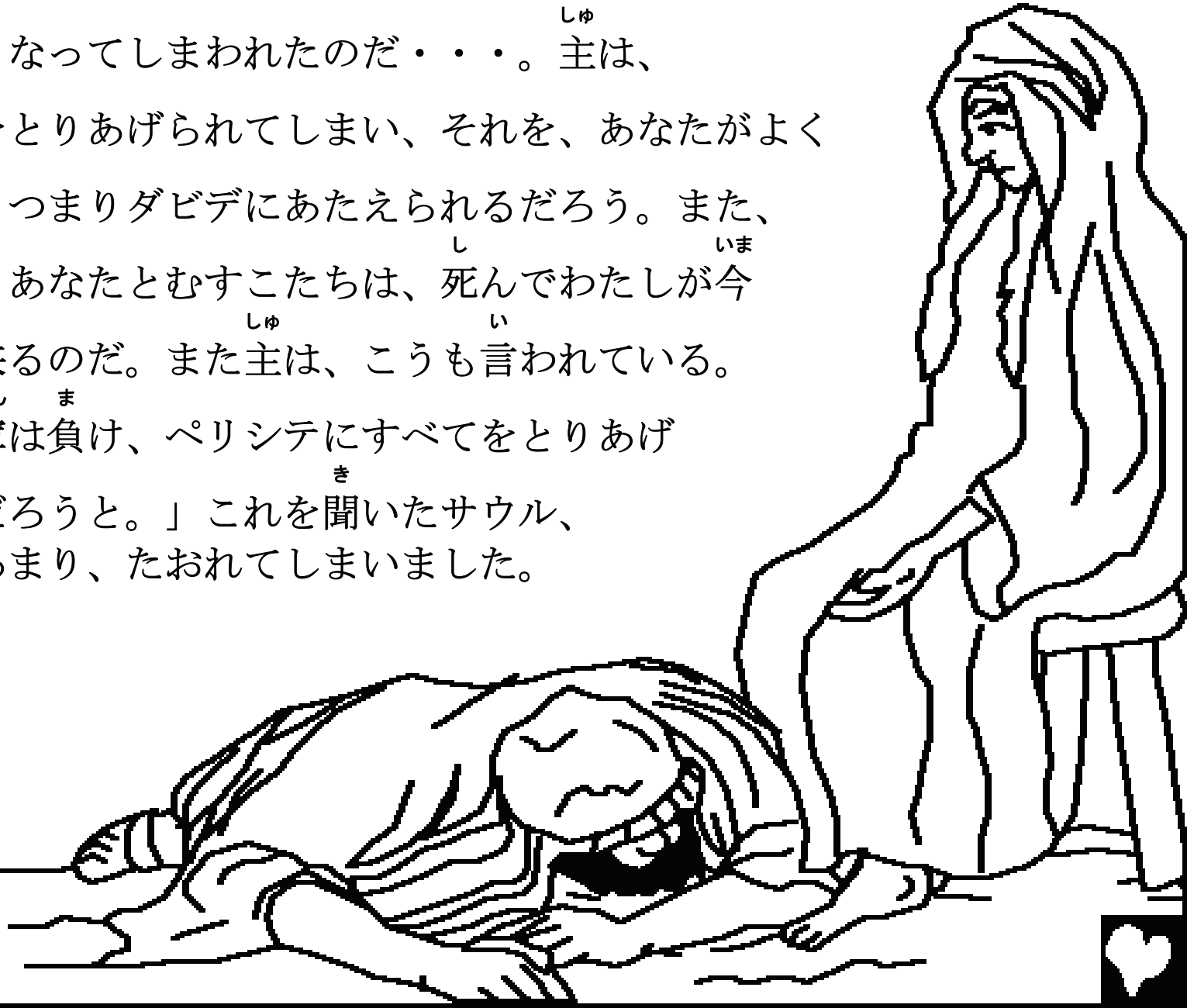
かの女に死んでしまったサムエルを、もういちどこの世に呼ぶようにと、

めいれいしたのです。その夜のことで。サウルは、どこからか、

こう言われているのが聞こえました。



「・・・サウル、主はあなたから、もうはなれてしまわれた。  
そして、てきとなってしまうのだ・・・。主は、  
あなたの王国をとりあげられてしまい、それを、あなたがよく  
知っている人、つまりダビデにあたえられるだろう。また、  
あすになれば、あなたとむすこたちは、死んでわたしが今  
いるところに来るのだ。また主は、こうも言われている。  
イスラエルの軍は負け、ペリシテにすべてをとりあげ  
られてしまうだろうと。」これを聞いたサウル、  
おそろしさのあまり、たおれてしまいました。



じん

たたか

ペリシテ人は、イスラエルとはげしく戦い、イスラエルの男たちはみんな、とうとうにげてしまいました。

おとこ

にん

そのとき、ペリシテ人はサウルのむすこたちも殺したのです。そう、ダビデのたいせつな友、ヨナタンもね。

ころ

とも



ゆみ

サウルもまた、弓でうたれ、

からだ

体じゅうキズだらけです。

そこでかれは、よろいやかぶとを

い

はこぶけらいに、言いました。

「さあ、おまえのつるぎをぬき、

ころ

わたしを殺しておくれ。

わる

悪いやつらがやってきて、

わたしをつるぎでさし、

ズタズタにしてしまわないように。」

い

けれども、けらいは、言いました。

おう

「王さま、そんなことするなんて・・・。

おそろしくてできません。」

も

そこで、サウルは、持っていたつるぎをぬき、

うえ じぶん

その上に自分からたおれて

し

死んでしまったのです。





「おい、サウルとむすこたちが死んでいる  
ぞ！」かれらを見つけたペリシテ人たちは、  
その死体をイスラエルの町まではこびまし  
た。そして、サウルたちの死体をこの町のか  
べにしっかりとはりつけたのです。今、この  
町は、もうペリシテのものなのですね。け  
れども、この町に、まだ何人かのゆう気あ  
るイスラエルの兵士たちがのこっていま  
した。これらの兵士は、サウルたちの  
死体をかべから下ろし、自分たちの家  
にもってかえりました。そして、火  
でもやして、イスラエルの  
地にうめてあげたの  
でした。







そのひどい知らせを聞いたダビデ、  
ほんとうにかなしくてたまりません。  
そして、サウルやヨナタン、  
かみ たみ おも  
神の民イスラエルのことを思い、  
な ゆうがた なに た  
泣いて夕方まで何も食べませんでした。  
なぜなら、かれらはつるぎによっ  
し  
て死んでしまったのですから。





ころ  
サウルは、ダビデをなんども殺そうとしました  
ね。でもダビデはさいごまで、神さまが<sup>かみ</sup>油<sup>あぶら</sup>そそぎ  
をされたサウルを、自分より<sup>じぶん</sup>えらい人<sup>ひと</sup>とおも  
いました。サウルが亡くなってしまった今、神さま<sup>いま</sup>  
はダビデをほめたたえられましたよ。そしてサウ  
ルのおしろ<sup>おう</sup>の王さまになさったのです。



おう  
王さまダビデ (その1)

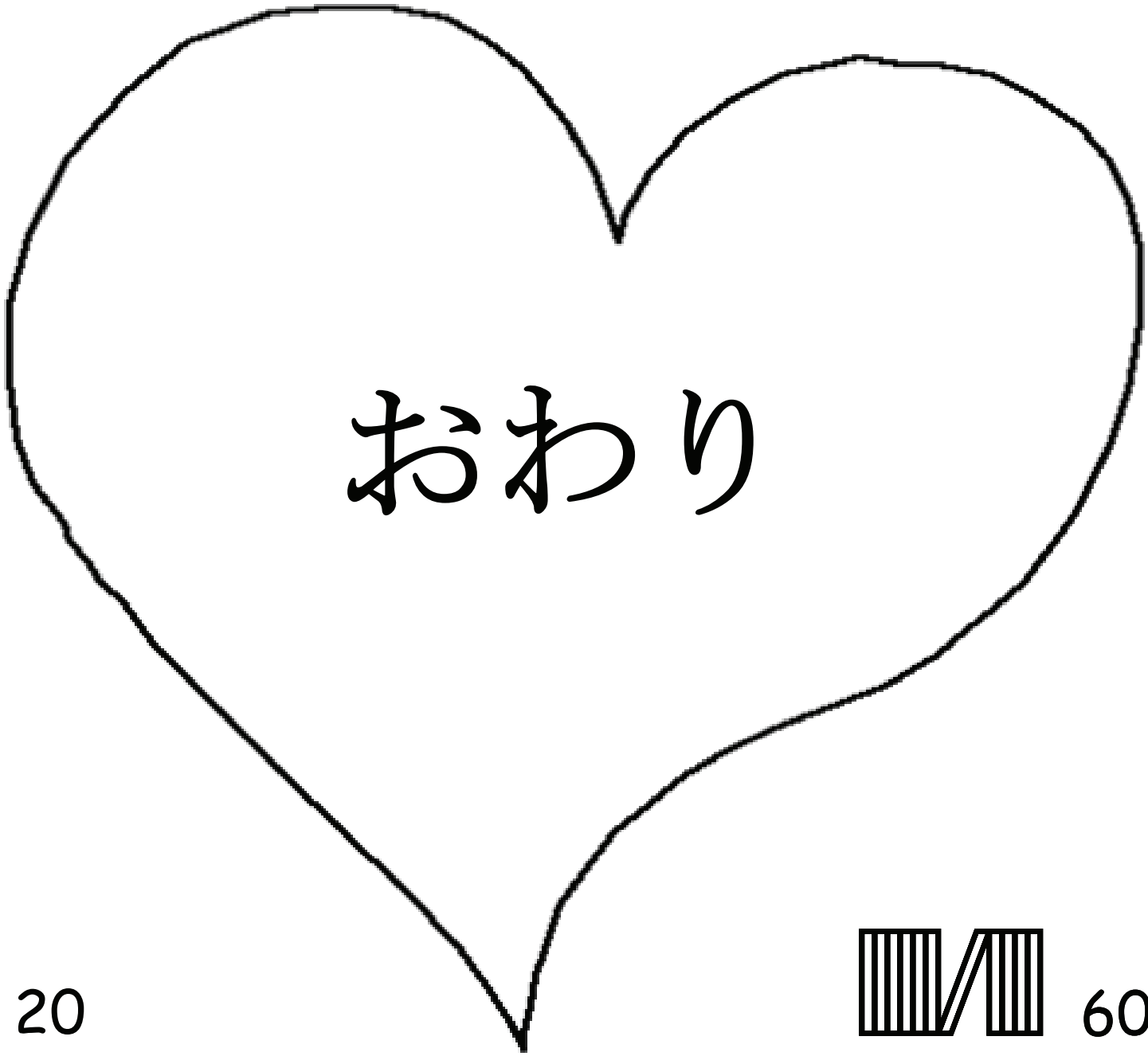
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

きじょう しょう しょう きげ しょう しょう  
サムエル記上 24 章 - 31 章 ; サムエル記下 1 章 - 2 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130





おわり

20

60



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、思っています。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくい、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとて愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
わたし なか き つみ わたし いま  
いらしています。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにいる  
ことができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

